

埼玉・群馬の健康と医療を支える 未来医療人の育成 Newsletter

第9号

■発行 埼玉医科大学／群馬大学 Saitama Medical University／GUNMA UNIVERSITY

本プロジェクトで大切にしていること vol.8

埼玉医科大学 医学教育センター長／医学部医学教育学 教授／事業推進プロジェクトサブリーダー 柴崎 智美

■地域を知り、地域と共に課題を解決できる医療人の育成

このプロジェクトも5年度目を迎え、群馬大学、埼玉医科大学の両大学で構築してきた教育の成果を整理し、群馬県・埼玉県が求める医療人材の育成に繋がっているのかを確認し、今後、県と大学とが連携して人材を育成する方策を具体的に検討する時期になりました。両県ともに今後人口減少社会を迎えますが、同時に医師不足も恐らく解消されていくものと思われます。そのような時代に求められる人材は、多様な専門職、住民や行政と連携し、自ら地域の課題を発見し、解決できる人材であると考えます。

両大学は、コミュニティ・アズ・パートナーモデルによる地域診断に低学年から取り組み、「利根川プログラム」、「秩父を知ろう」など医師偏在が問題になっている地域や医療機関に出向いて、地域を体験する取り組みを進めてきました。これらを通して、学生は課題を発見し解決策を考える力を身につけています。さらに、低学年から学ぶことで、学生の中に地域への愛着や地域医療マインドが育まれていることを担当者として実感しています。今後地域で役に立つ医師として羽ばたくためには、マインドだけではなく、総合的に患者生活者をみる総合診療力が求められています。今後更に、両大学で連携し、総合診療力の育成に取り組んで行きたいと考えています。



令和7年度 埼玉・群馬未来医療人育成シンポジウムを開催しました

埼玉医科大学 医学部医学教育学 教授 石橋 敬一郎

■テーマ：「志を育み、地域とともに歩む」

令和8年2月23日（月・祝）、ウェスタ川越において、「令和7年度 埼玉・群馬未来医療人育成シンポジウム」を会場とオンラインのハイブリッド形式で開催いたしました。当日は、会場104名、オンライン35名、計139名と多くの方々にご参加いただき、盛会のうちに終了することができました。

第1部の特別講演では、宮崎県都農町国民健康保険病院院長の吉村学先生をお迎えし、「地域医療の志の育成」と題してご講演いただきました。宮崎大学医学部における地域医療教育の実践を中心に、低学年からの実習や高学年での地域包括ケア実習、長期滞在型地域医療実習など、多様な学びの機会について紹介されました。地域医療教育の意義を改めて実感する、大変示唆に富む内容でした。

第2部では、埼玉医科大学・群馬大学合同プログラム「はじめて学ぶ地域医療・地域医療とチーム医療」「県境地域から学ぶ地域医療集中演習・利根川プログラム」に加え、埼玉医科大学独自プログラムの振り返りを行いました。両大学の1年生による発表では、この1年間の学びや気づきが共有され、参加者にとっても有意義な機会となりました。さらに、連携医療機関である桐生厚生総合病院、秩父市立病院からも取り組み報告がありました。

最後に、ご参加いただいた皆様ならびに開催にご尽力いただいた関係各位に、心より御礼申し上げます。今年度も本シンポジウムを開催予定です。地域医療に関心のある中・高校生、医学生の皆様のご参加をお待ちしております。



吉村先生ご講演



群馬大医学生発表（利根川プログラム）



埼玉医科大医学生発表（独自の取り組み）



シンポジウムを終えて

医学生とのふれあい相談会を開催しました

埼玉医科大学 医学教育センター 助教 小池 啓子

■医学生と中高生が心を通わせた「ふれあい相談会」

シンポジウムと同日開催された「医学生とのふれあい相談会」は、医学部を志す中高生26名と保護者の皆様を迎え、盛況のうちに終了しました。

本年度は展示スペースを拡充し、地域医療を学ぶ学生の成果報告ポスターなどの展示や、教員と交流する場を設けました。会場では両大学の学生が中高生をエスコートし、映像や資料を用いて医学部での学びを多角的に紹介しました。

個別相談では、勉強時間や部活動、大学生活への不安などの質問に対し、学生たちが自身の経験を交えて丁寧にアドバイスをする姿が印象的でした。医師を志す先輩・後輩による交流は、互いへの期待と応援の言葉が交わされる、温かく有意義なひとときとなりました。



「秩父を知ろう！2025」を実施しました

埼玉医科大学 医学教育センター 特任准教授 井上 直子

■仲間と共に充実した2日間

「秩父を知ろう！2025」が、令和8年3月25・26日に初めて開催されました。参加者は、埼玉医科大学1年生の地域枠15名です。

既に前期で受講した「地域診断」の授業を通じて学んだ「地域を診る」ということを、実際に現地に赴き実地で体験しました。

1日目は秩父についての「歴史・自然」「保健医療」の講義、地域で暮らす高齢者との対話と介護予防事業と一緒に体験し、夜は地域医療に携わる医師から総合診療の意義や医師としてのキャリア形成について学びました。2日目は関東最大のパワースポットである三峯神社に参拝し、午後は秩父市内の街歩きをグループで行いました。

参加後のアンケートでは、参加者全員が「参加して良かった」と回答し、地域医療や総合診療についての心構えや知識が増えたことを実感していました。実際の地域医療実習は先ですが、今回、「地域」に赴くことで、その地域への愛着が増したように見受けられました。1泊2日と短い時間でしたが、同じ志を持つ仲間との体験が、大変心に残る研修だったようです。

開催にあたりご協力いただきました秩父ジオパーク、秩父市役所、三峯神社他関係者の皆様、学内の諸先生方、運転手の方々に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



【学生の感想】 埼玉医科大学 医学部2年 武正 奈那美

今回、「秩父を知ろう！2025」に参加し、秩父地域の医療の現状について理解を深めるとともに、地域枠医学生同士の交流を深めることができました。普段は座学で学ぶのみであった地域に実際に足を運び、ポテくまくん体操への参加や地域住民の方々との対話を通して、地域が抱える課題や医療へのニーズを肌で感じることができました。同時に、豊かな自然や温かい人々との触れ合いを通して秩父の魅力も実感しました。

今回、現場で得た経験は、将来地域医療に携わる医師としての責任や役割をより具体的に考える貴重な機会となりました。また、今後長く関わる地域枠医学生や先生方との交流を通して、同じ志を持つ仲間がいることの心強さを実感しました。本研修は、将来への意識を一層高める貴重な機会となりました。

令和8年度 埼玉・群馬未来医療人育成シンポジウムのお知らせ

※ウェビナー併用

日程 令和9年

2月23日(火・祝)

参加
無料



〒350-1124
埼玉県川越市新宿町1-17-17

■JR川越線、東武東上線「川越駅」
西口より徒歩約5分

■西武新宿線「本川越駅」より
徒歩約15分

※詳細が決まりましたら、ホームページ・SNSでお知らせいたします。

会場 ウェスタ川越 (埼玉県川越市)
1階 ヤオコー多目的ホール



参加無料

医学生との

ふれあい相談会



受験勉強や学生生活などの疑問や不安に
現役医学生がお答えします！

埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成 Newsletter 第9号



編集・発行：埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業事務局
住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
TEL：049-276-1109
発行日：2026年06月
E-mail：sgmirai-smu@saitama-med.ac.jp
URL：https://sgmirai.jp

無断転載禁止



For Students

